

デジカメ写真アルバム

フォトマスター Pro




Ver2.08 の新機能



## フォトマスター Pro の新機能について

### 1. 新機能一覧(ver2.08)

Ver2.07 Ver2.08 では、新たに以下の新機能が追加されました。

- ・  **電子黒板追加機能(工事用黒板の後付け機能)**
- ・  **印刷基本設定に、「部単位で印刷(ソート印刷)」の設定機能を追加**
- ・  **ショートカットキーに、サムネイル画像の「名前の変更(N)」を追加**

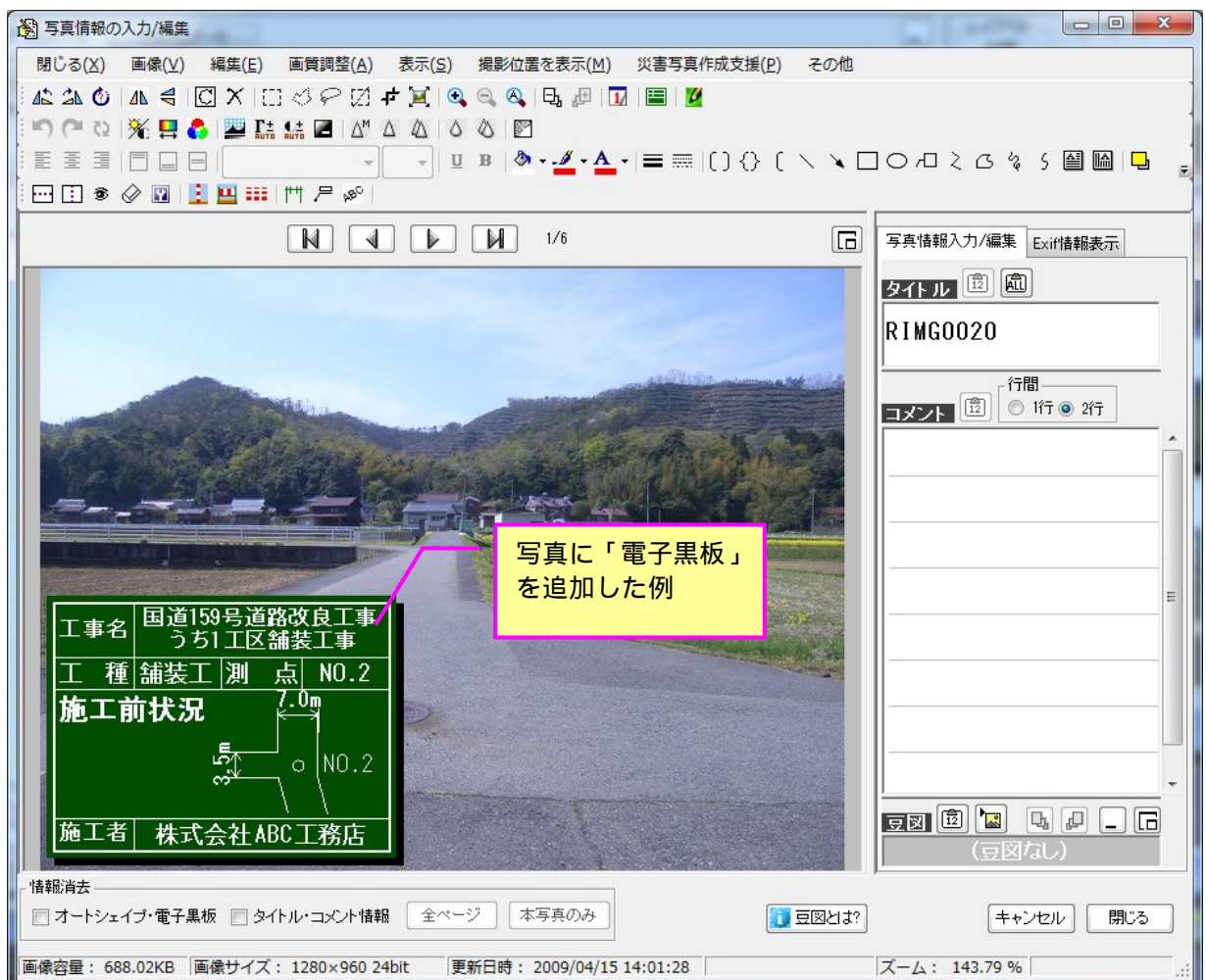
### 2. 電子黒板機能(工事用黒板)について

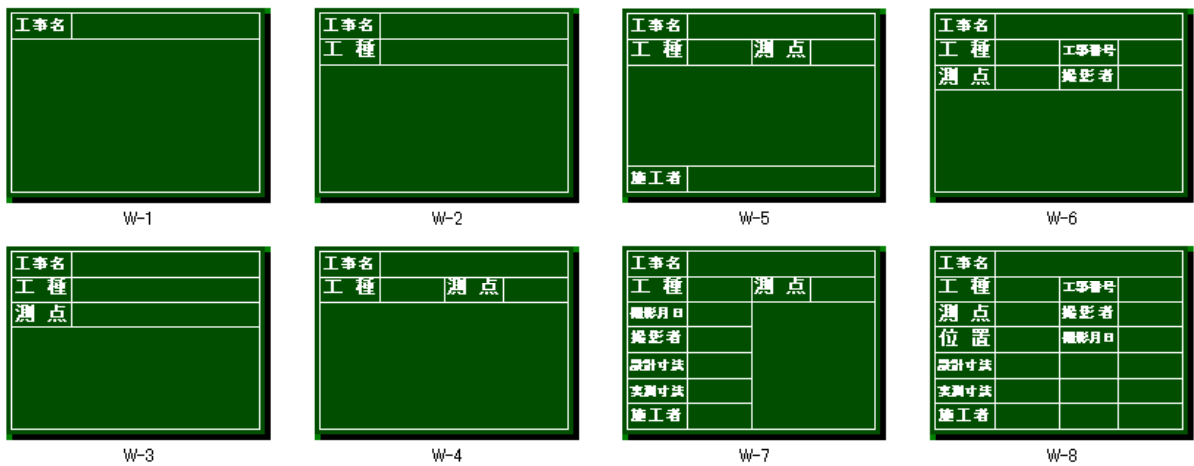
#### 1) 概要

フォトマスターII Pro では、下図のように写真上に「工事用黒板」を「後付け」することが可能です。

建築工事や調査業務などでは、作業内容が書き込まれた黒板とともに、現場の写真を撮影する場面が多いと思います。黒板を「後付け」しても問題ない場合は、本機能を活用することで、簡単かつ効率的に「黒板」を写真上に配置することが出来ます。

また黒板スタイルを一覧表形式に設定することで、調査結果等の一覧表を写真上に貼り付けることも可能です。なおスタイルはユーザー側にて**カスタマイズ可能**です。



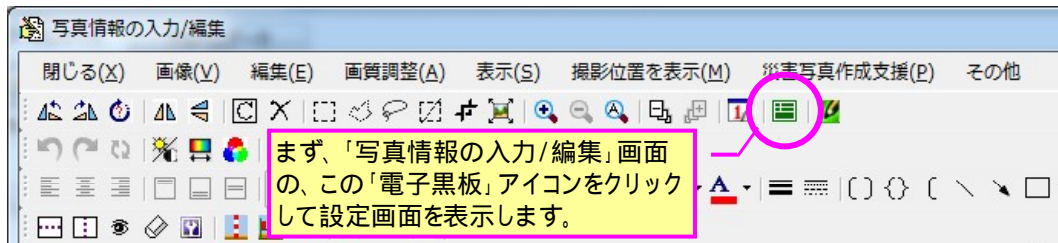


初期設定の黒板スタイル(全8種類、細部はカスタマイズ可能)

## 2) 使用方法

「電子黒板の設定」画面の表示

「写真情報の入力/編集」画面の「電子黒板」アイコンをクリックして「電子黒板の設定」画面を表示します。



電子黒板の設定方法

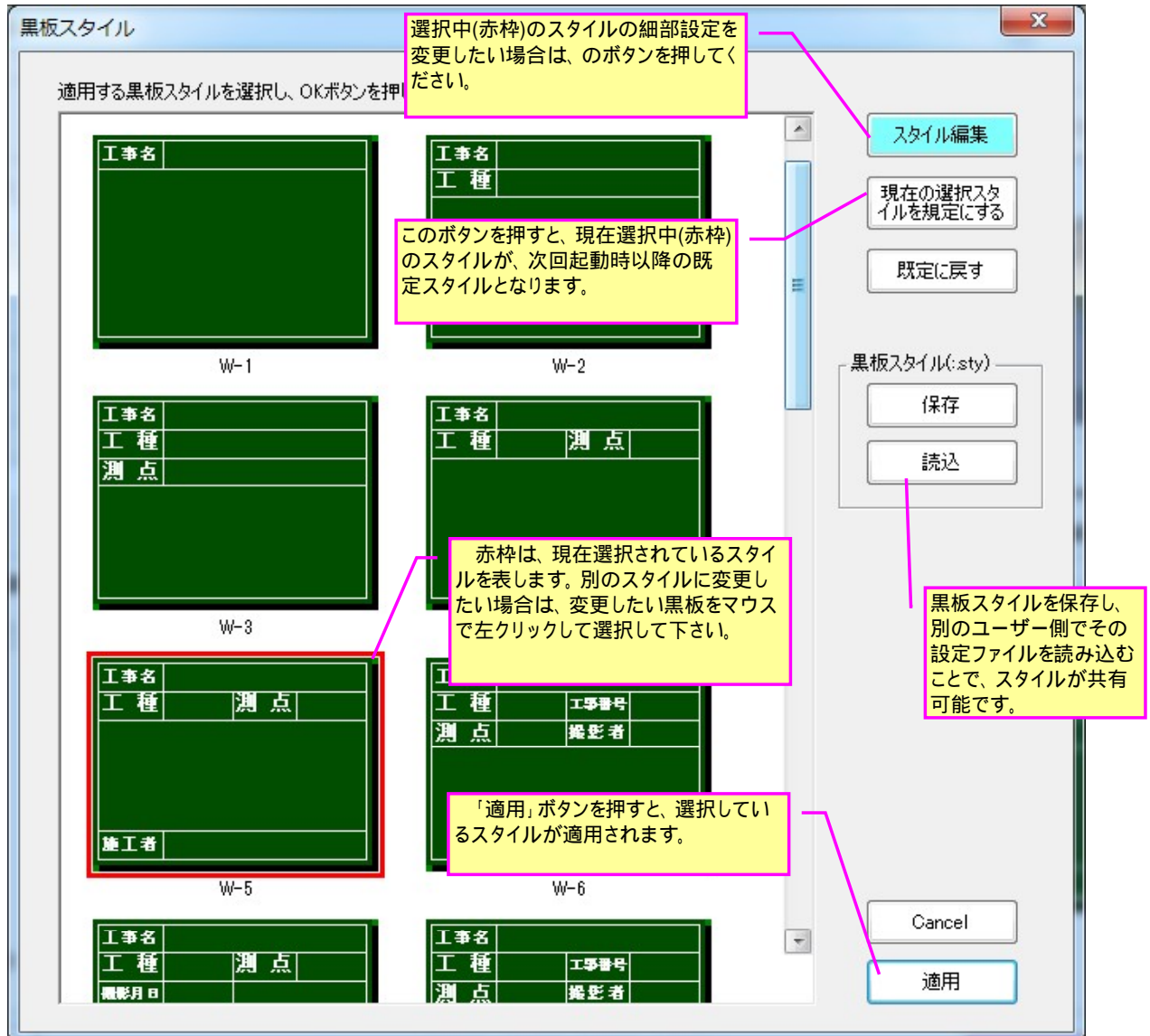
「電子黒板の設定」画面が表示されますので、必要に応じて黒板スタイルを変更し、各設定欄に必要な情報を記入した上で最後に「黒板の追加/変更」ボタンを押して黒板を写真上に貼り付けます。



## 黒板スタイルを変更する方法










フォトマスターIIPro では、8種類の黒板スタイルを登録しています。黒板スタイルを変更したい場合は、下記の黒板スタイル画面を開き、ご希望のスタイル図を選択し「適用」ボタンを押すことで変更することが出来ます。

また、もし8種類の中に希望するスタイルがない場合は、ユーザー側で黒板スタイルを編集してオリジナルの黒板を作ることにも可能です。黒板スタイルをカスタマイズするには、画面右上の「スタイル編集」ボタンを押してください。



## 黒板スタイル編集(カスタマイズの方法)

黒板は、7つのスタイル部品で組み合わせで作っています。各スタイル部品は全9種類あり、プルダウンメニューから選択する仕組みになっていますので各行毎に設定して下さい。

記号	スタイル部品	説明
A-1		…項目なし
A-2		…項目1のみ設定可能
A-3		…項目1と2の両方設定可能
B-1		…項目なし
B-2		…項目なし
B-3		…項目なし
C-1		…項目1のみ設定可能
C-2		…項目1のみ設定可能
C-3		…項目1のみ設定可能

黒板スタイル編集

スタイル名は自由に付けて下さい。

下記のプルダウンメニューから各行毎に表スタイルを選択し、組み合わせることで、自由に黒板の構成を変えることが出来ます。但し、自由記入欄については必ず上端と下端をペアで使用し、欄が開閉するようにして下さい。

スタイル名:

スタイル設計

	スタイル	項目1	項目2
1行目		工事名	
2行目		工種	測点
3行目			
4行目			
5行目			
6行目			
7行目		施工者	

欄幅調整

項目1  
0 (%)  
項目2  
0 (%)  
(+)…拡大  
(-)…縮小

書式設定

黒板

項目

内容

縦横比: 3:4(標準)  
背景色:   
枠線色:   
線幅(外枠): 1.5pt  
線幅(中枠): 0.75pt  
☒ 影を付ける 右下

項目リスト

項目1と項目2のプルダウンメニューに表示する文字列を設定します。最大20語まで登録可能です。

1行目→

2行目→

3行目→

4行目→

5行目→

6行目→

7行目→

工事名

工種

測点

施工者

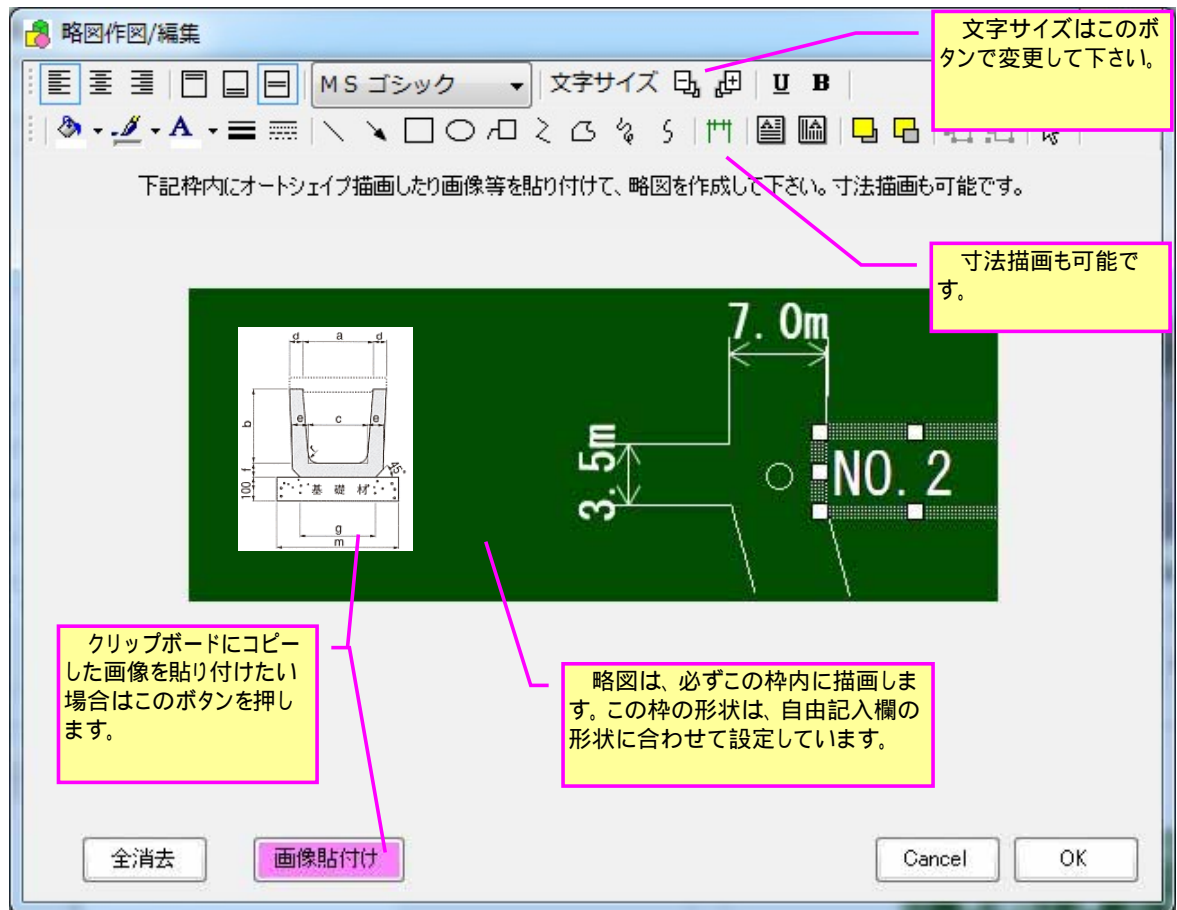
黒板の形状を、横長3種類、縦長1種類から選択可能です。



### 略図の追加/編集

自由記入欄には、オートシェイプを用いて略図の作画も可能です。また他のアプリケーションで作図した画像を貼り付ける場合は、クリップボードにコピーして下記の「画像貼り付け」ボタンを押します。

また略図への寸法作図も可能です。



### 3) 電子黒板作成例

次ページは電子黒板の作成例です。

## 電子黒板(工事用黒板)の後付け追加例

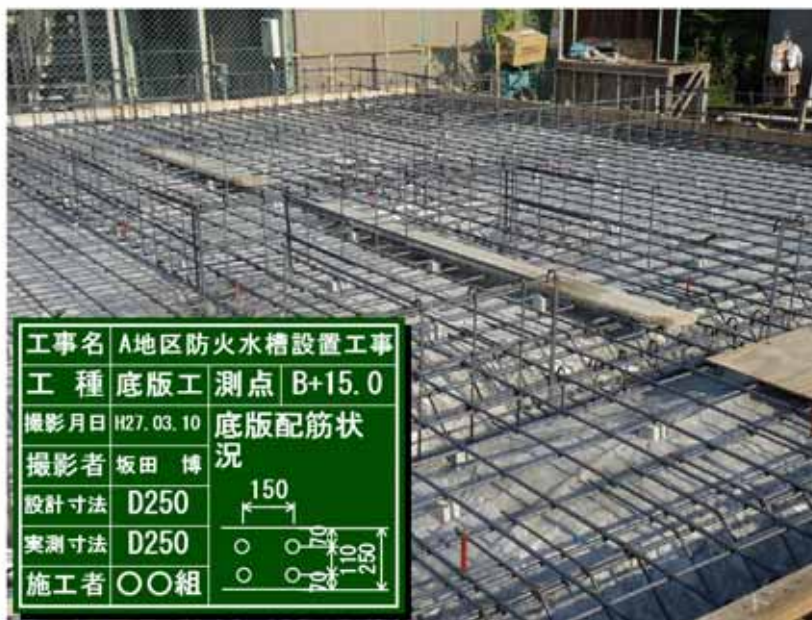


### U型側溝

造成面積 A=12.5ha

U型側溝：U-300-8\*5

L=125.0m-15.3



### 鉄筋工事

貯水槽V=150m3級

GL=125.32m

L=108.12m



### 擁壁工事1

GL=125.9m

L=52.3m

天H=126.8m

### 3. 印刷基本設定に「部単位で印刷(ソート印刷)」の設定機能を追加

下記の印刷基本設定画面に、「印刷部数」と「部単位で印刷(ソート印刷)」する設定を追加しました。

印刷方法は、「通常印刷」、「裏表に両面印刷する「見開き印刷」、袋とじ形式で印刷する「袋とじ印刷」の3種類から選択可能です。ただし、両面印刷に対応していないプリンターでは「見開き印刷」は選択できません。また「袋とじ印刷」は、A4ページを並べてA3用紙に印刷することになるため、A3ページのアルバムでは選択できません。

なお、見開き印刷および袋とじ印刷の場合、基本的にプリンター側の設定は特に必要ありません。(但しすべてのプリンターでその機能を補償するものではありません)

印刷基本設定 【アルバムサイズ：A4】

■ 印刷方法を設定して下さい

☒ 通常印刷(片面印刷)

☐ 見開き印刷(両面印刷)

☐ 袋とじ印刷(片面印刷)  
(A4ページをA3用紙の左右/上下に配置して印刷)

【用紙サイズ：A4】

■ 表紙の印刷

☒ 印刷しない

☐ 印刷する

表紙設定/確認(S)

■ 印刷ページ

☒ すべて(全2ページ)

☐ 現在選択中のページ(1ページ目)

☐ ページ指定  ページから  ページまで

■ 印刷部数

印刷部数  部

☒ 部単位で印刷

■ プリンター情報

現在のプリンタ： Canon MG7100 series Printer

A3対応 ☐ 両面印刷 ☐

印刷品質  カラーモード

【注意】  
プリンタの用紙選択および両面印刷設定は、ソフトウェア側で自動的に設定されます。

☐ すべての印刷方法を有効にする(プリンタ情報とは非連動)

☐ プリンターの印刷設定を手動でおこなう。

機種変更(R)

Help1

Cancel

次へ

アルバムの表紙を印刷する場合は、「印刷する」を選択します。

アルバムの表紙設定および確認(表紙プレビュー)が出来ます。

印刷するページを設定します。  
(飛び飛び印刷をおこないたい場合は、「すべて」印刷を選択し、印刷プレビューの「印刷の設定」にて印刷ページを設定して下さい)

印刷部数を設定します。

部単位で印刷(ソート印刷)したい場合は、ここにチェックを入れます。  
チェックを入れたと、「123」、「123」、「123」のように1部ずつまとめて印刷します。

プリンターの機種を変更します。

品質、カラーモードを切替えることが出来ます。

プリンターがA3印刷に対応しているか、また両面印刷に対応しているかを表示します。対応していれば「○」、未対応の場合は「×」が表示されます。

プリンター情報とは無関係に、3種類の印刷方法を強制的にすべて選択できるようにします。プリンター情報が正常に取得できない場合等に使用します。

通常、プリンターの用紙設定や印刷方法(見開き印刷設定など)は、当ソフトにて自動設定されます。しかし、何らかの原因で自動設定が正常に機能しない場合には、このチェックを入れ、印刷設定を手動で行って下さい。

### 4. ショートカットキーの設定に、サムネイル画像の「名前の変更」を追加

サムネイル画像の「名前の変更(N)」を、ショートカットキー[Shift] + [F2]として登録しました。



デジカメ写真アルバム

フォトマスター Pro





Ver2.07 の新機能



## フォトマスター Pro の新機能について(その1)

### 4. 新機能一覧(ver2.07)

Ver2.06 Ver2.07 では、新たに以下の新機能が追加されました。

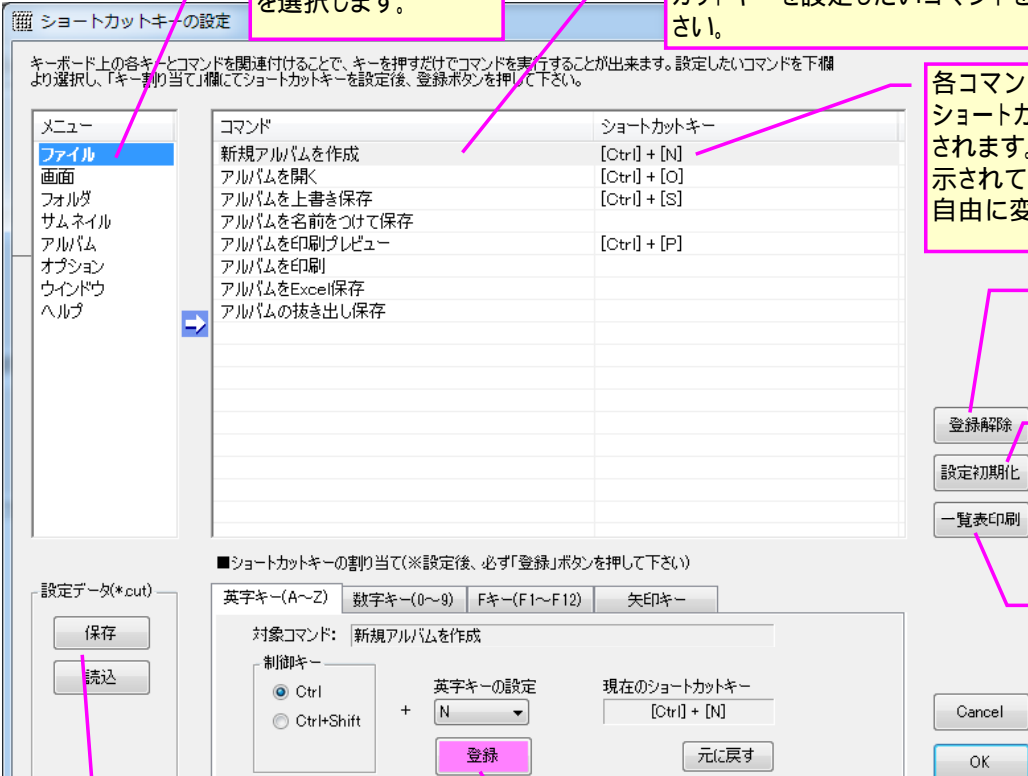
- ・  ショートカットキーの設定機能
- ・  アルバム追加済み写真チェック機能
- ・  アルバム写真の並び替え機能
- ・  PDF 仮想プリンターへの完全対応(PDFCreator、CubePDF、CutePDF Writer 等)

### 5. ショートカットキーの設定機能

#### 5-1. ショートカットキーとは

ショートカットキー(ホットキー)とは、画面上のメニューからマウス操作で実行する命令などを、簡単なキー操作で実行する機能です。

ショートカットキーを使用すると、打鍵数を減らしたり、マウスを使わずにコマンドを実行/操作できるため、熟練者が使うと作業効率を高める効果があります。具体的な操作としては、Alt キーや Ctrl キーを押しながら他のキーを押すことでコマンドが実行されます。



ショートカットキーの設定

キーボード上の各キーとコマンドを関連付けることで、キーを押すだけでコマンドを実行することが出来ます。設定したいコマンドを下欄より選択し、「キー割り当て」欄にてショートカットキーを設定後、登録ボタンを押して下さい。

メニュー	コマンド	ショートカットキー	
ファイル	新規アルバムを作成	[Ctrl] + [N]	
	アルバムを開く	[Ctrl] + [O]	
	アルバムを上書き保存	[Ctrl] + [S]	
	アルバムを名前をつけて保存		
	アルバムを印刷プレビュー		
	アルバムを印刷	[Ctrl] + [P]	
	アルバムをExcel保存		
	アルバムの抜き出し保存		

■ショートカットキーの割り当て(※設定後、必ず「登録」ボタンを押して下さい)

設定データ(\*.cut)

保存 読込

英字キー(A~Z) 数字キー(0~9) Fキー(F1~F12) 矢印キー

対象コマンド: 新規アルバムを作成

制御キー: ☒ Ctrl ☐ Ctrl+Shift + 英字キーの設定: N 現在のショートカットキー: [Ctrl] + [N]

登録 元に戻す

登録解除 設定初期化 一覧表印刷

Cancel OK

まずメインメニューを選択します。

メニューに応じたコマンドが表示されますので、ショートカットキーを設定したいコマンドを左クリックで選択して下さい。

各コマンドに割り当てられているショートカットキーはこの列に表示されます。最初は既定設定値が表示されていますが、ユーザー側で自由に変更可能です。

選択コマンドのショートカットキーの登録を解除します。

現在のショートカットキーの設定をすべて削除して初期設定の状態に戻します。

ショートカットキーの登録一覧表を印刷します。用紙はA4縦となります。

「OK」ボタンを押すと、すべての設定が保存され、次回以降も反映されます。

ショートカットキーの設定を保存しておく、他のユーザーとの設定情報の共有が可能となります。

選択したコマンドのショートカットキーを設定し、最後に「登録」ボタンを押すことで登録が完了します。

## 5 - 2 . ショートカットキーの設定手順

ショートカットキーを割り当てたいコマンドを、設定画面内のコマンドリストから選択します。

「ショートカットキーの割り当て」欄より、割り当てたいキーを選択します。但し、割り当てられるキーは、下図の「英字キー」「数字キー」「Fキー」「矢印キー」のみとなります。

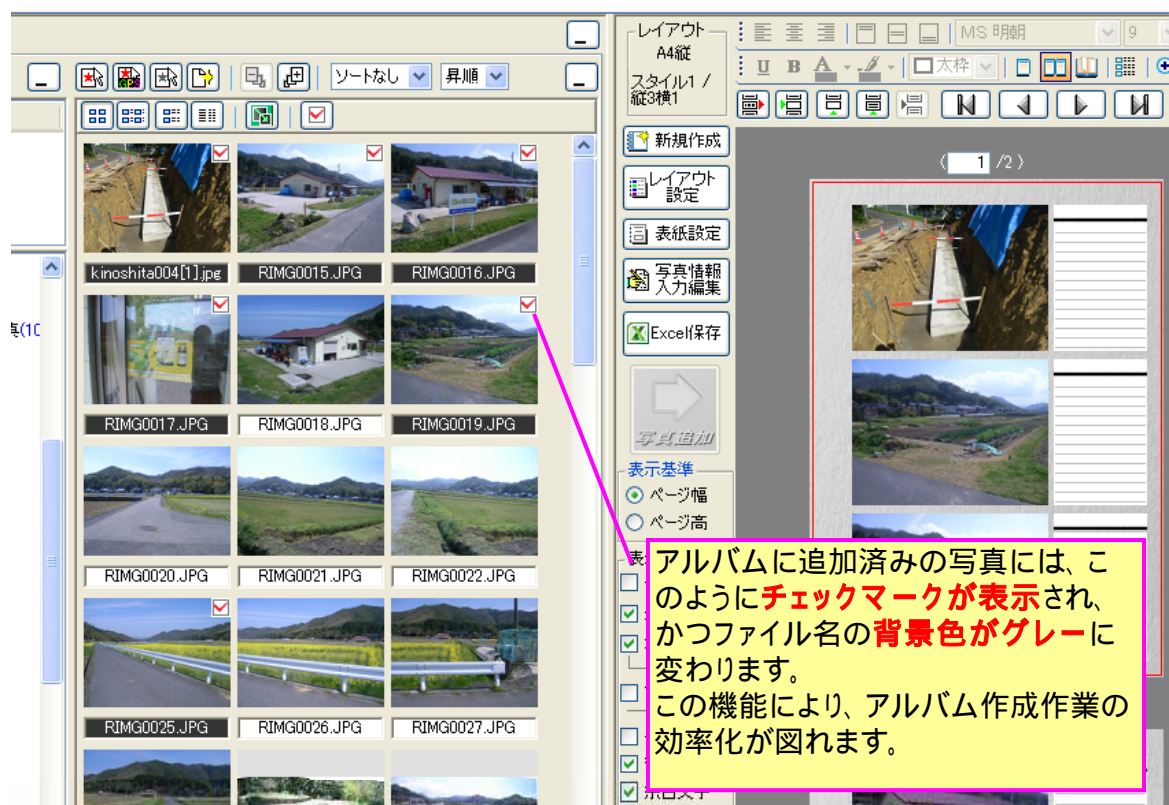
キーを設定後、「登録」ボタンを押します。このとき、キーが既に別のコマンドに割り当て済みの場合は警告メッセージが表示されますので、表示に従って処理して下さい。最後に「ショートカットキーの設定」画面の「OK」ボタンを押します。この操作によりキーの設定が最終的に登録され、次回以降も設定が反映されます。



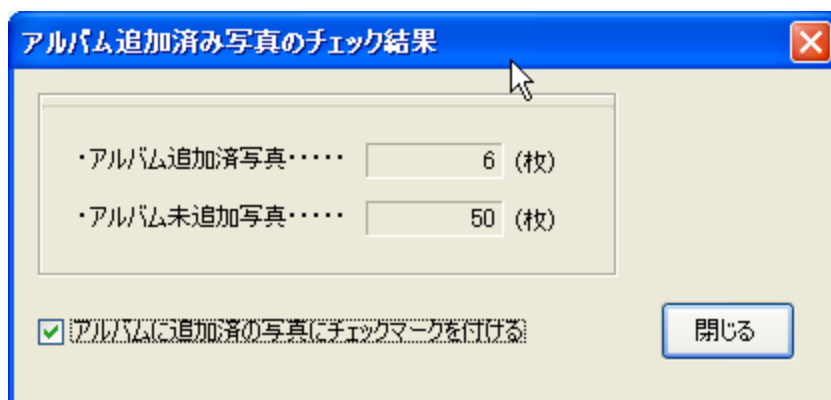
## 6 . アルバム追加済み写真チェック機能

アルバムに写真を追加すると、追加した写真のサムネイル画像上に「チェックマーク」が表示されると同時に、ファイル名の背景色がグレーに変わります。

この機能により、アルバムへの二重追加などを防止でき、アルバムの作成作業が効率化します。



またツールバーの「アルバム写真追加済みチェック」ボタンを押すと、下図のようにアルバムに追加した写真と未追加の写真の枚数を表示することができます。

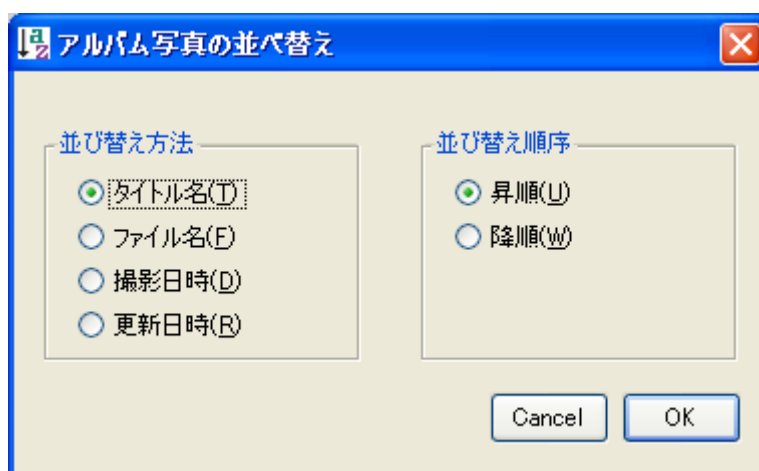


## 7. アルバム写真の並び替え機能

アルバム写真の並び替え機能を追加しました。

これまではサムネイル写真の並び替えは出来ましたが、アルバム写真の並び替えまでは出来ませんでした。

しかし多くのユーザー様から、アルバム写真の並び替え機能の追加要望が寄せられたため、下記のように、タイトル名、ファイル名、撮影日時等で並び替えられる機能を追加いたしました。



## 8. PDF 仮想プリンターに完全対応





Adbe 製品以外の PDF 仮想プリンターでは、ごく稀に印刷されない箇所が存在するなどの不具合が報告されていたため、プログラムを修正いたしました。PDFCreator、CubePDF、CutePDF Writer 等の仮想プリンターに完全対応いたしました。



## フォトマスター Pro の新機能について(その2)

### 9. 新機能一覧(ver2.06)

Ver2.05 Ver2.06 では、新たに以下の新機能が追加されました。

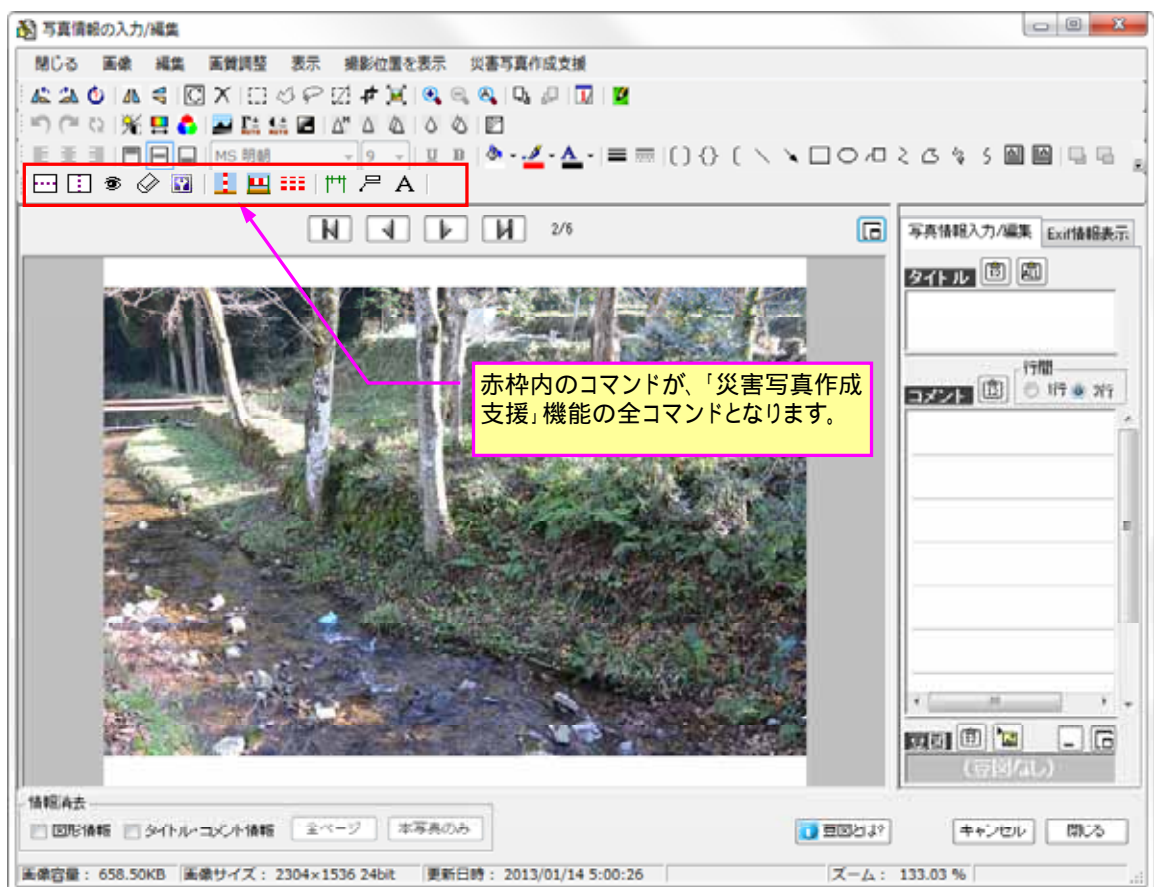
- ・  災害写真作成支援機能  
(寸法描画、引出し線描画、傾斜文字描画、赤白帯描画、測量ポール描画)
- ・  「写真情報の入力/編集」画面でのアルバム写真のサイズ変更機能
- ・  アルバムデータの「追加」機能と「プレビュー」機能
- ・  アルバム写真の抜き出し保存機能

### 10. 災害写真作成支援機能












#### 10-1. 概要

「災害写真作成支援機能」は、H26 年より簡素化された災害査定用写真の仕様に対応したもので、CAD のように写真上に寸法を描画したり、距離スケール(赤白帯)を簡単に作図することができます。

なお本機能は災害査定写真の作成を主な目的としておりますが、出来高寸法を表示する際など、工事写真や建築現場写真作成時にも大変便利な機能となっています。



# 災害査定写真作成支援コマンド

アイコン	機能
	寸法描画コマンド。水平、垂直、斜め寸法を描画。
	引き出し線描画コマンド。文字列を引き出し線と共に描画。
	文字列描画コマンド(傾斜文字対応)。テキストボックスは水平/垂直のみですが、本コマンドはテキストの
	測量ボール描画コマンド。2m(3m)のボールを簡単に写真上に描画するコマンド。
	赤白帯(距離スケール)描画コマンド。距離スケールとなる赤白帯を写真上に描画するコマンド。
	赤白帯幅変更コマンド。赤白帯の幅を変更するコマンドです。
	水平補助線描画コマンド。寸法線を描画する際の参考線を描画するコマンド。補助線は印刷/出力されま
	垂直補助線描画コマンド。寸法線を描画する際の参考線を描画するコマンド。補助線は印刷/出力されま
	補助線の表示/非表示コマンド。
	補助線消去コマンド。補助線をすべて消去します。
	補助線設定コマンド。補助線の線種、色、太さ等を設定します。

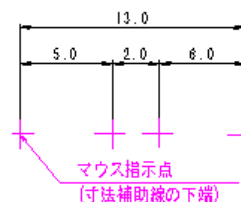
## 10-2. 寸法描画機能について

「災害写真作成支援機能」には、下記の3種類の寸法描画機能があります。なお通常は距離寸法を描画しますが、描画設定を変更することで寸法部に任意の「文字列」を表示することも可能です。

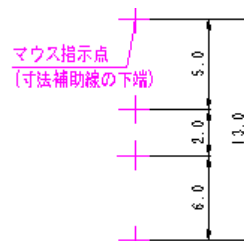


寸法描画コマンド

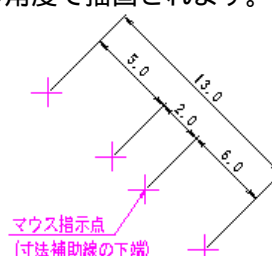
水平寸法・・・寸法補助線が水平となるような寸法。水平方向の寸法描画に用いられます。

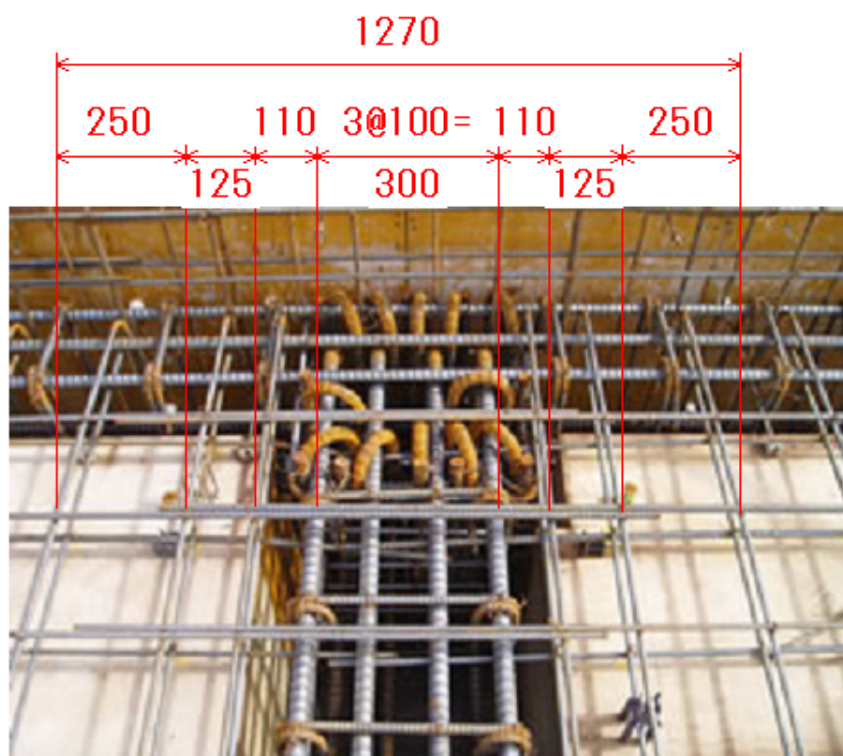
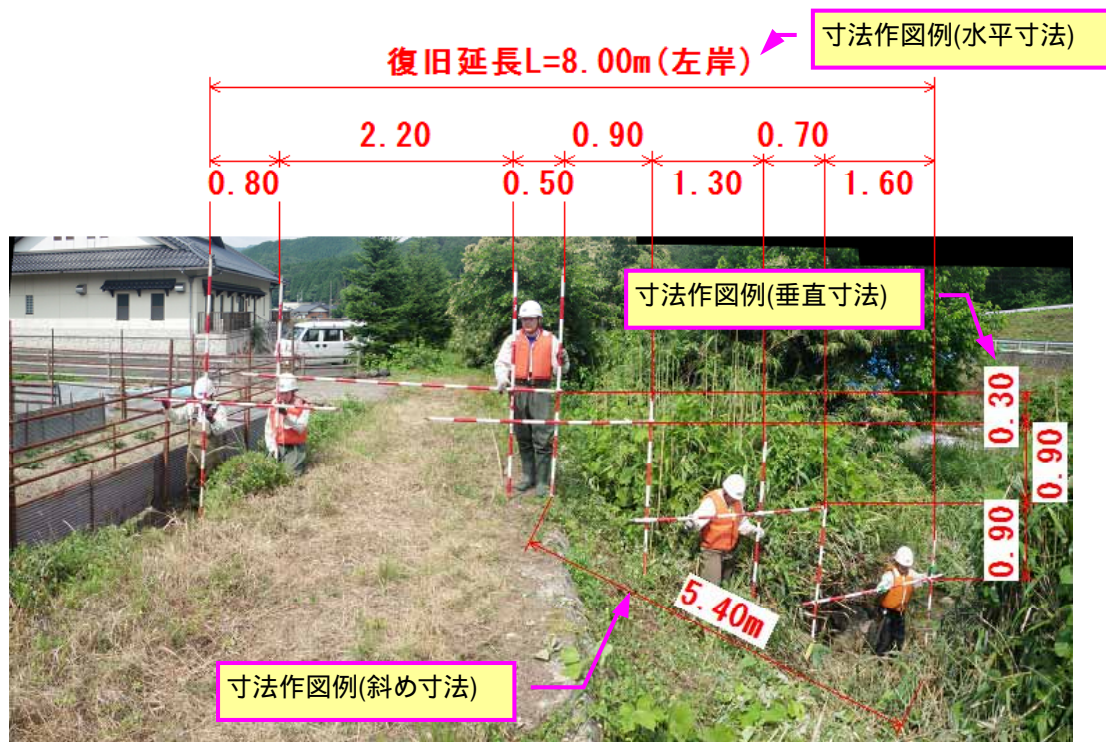


垂直寸法・・・寸法補助線が垂直となるような寸法。縦方向の寸法描画に用いられます。



距離寸法・・・寸法補助線が斜めとなるような寸法。描画角度は、マウスの最初の2点指示の角度で描画されます。

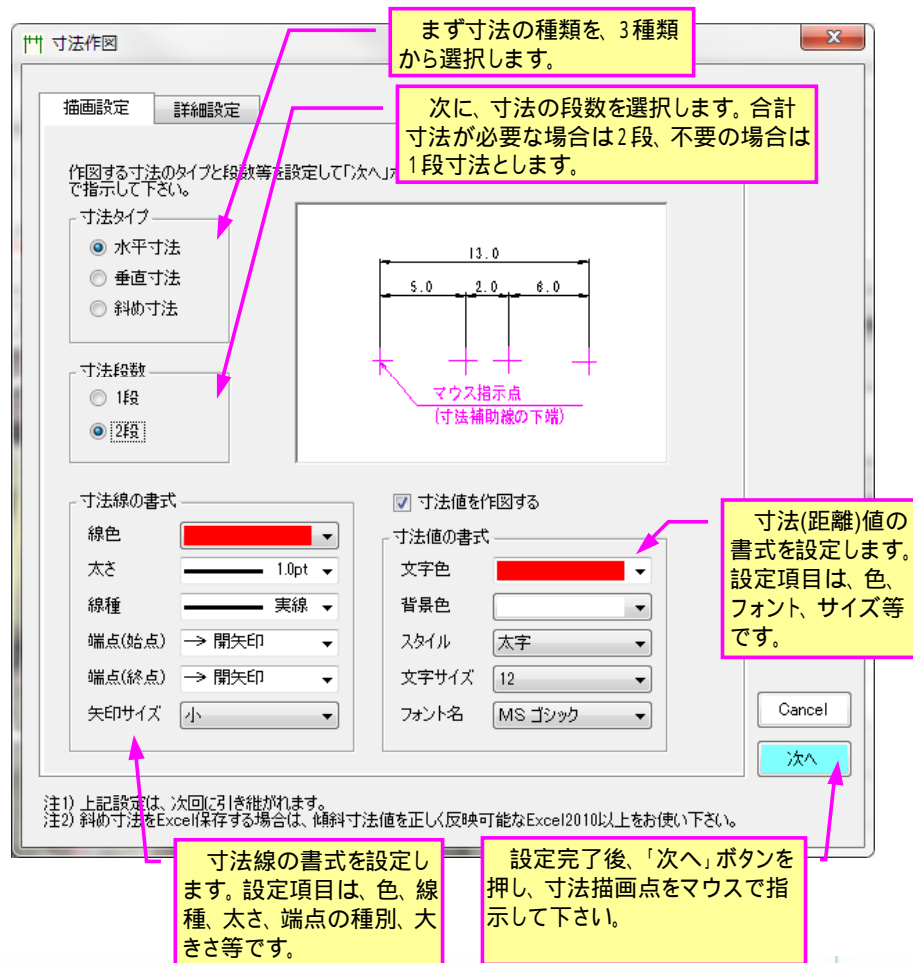




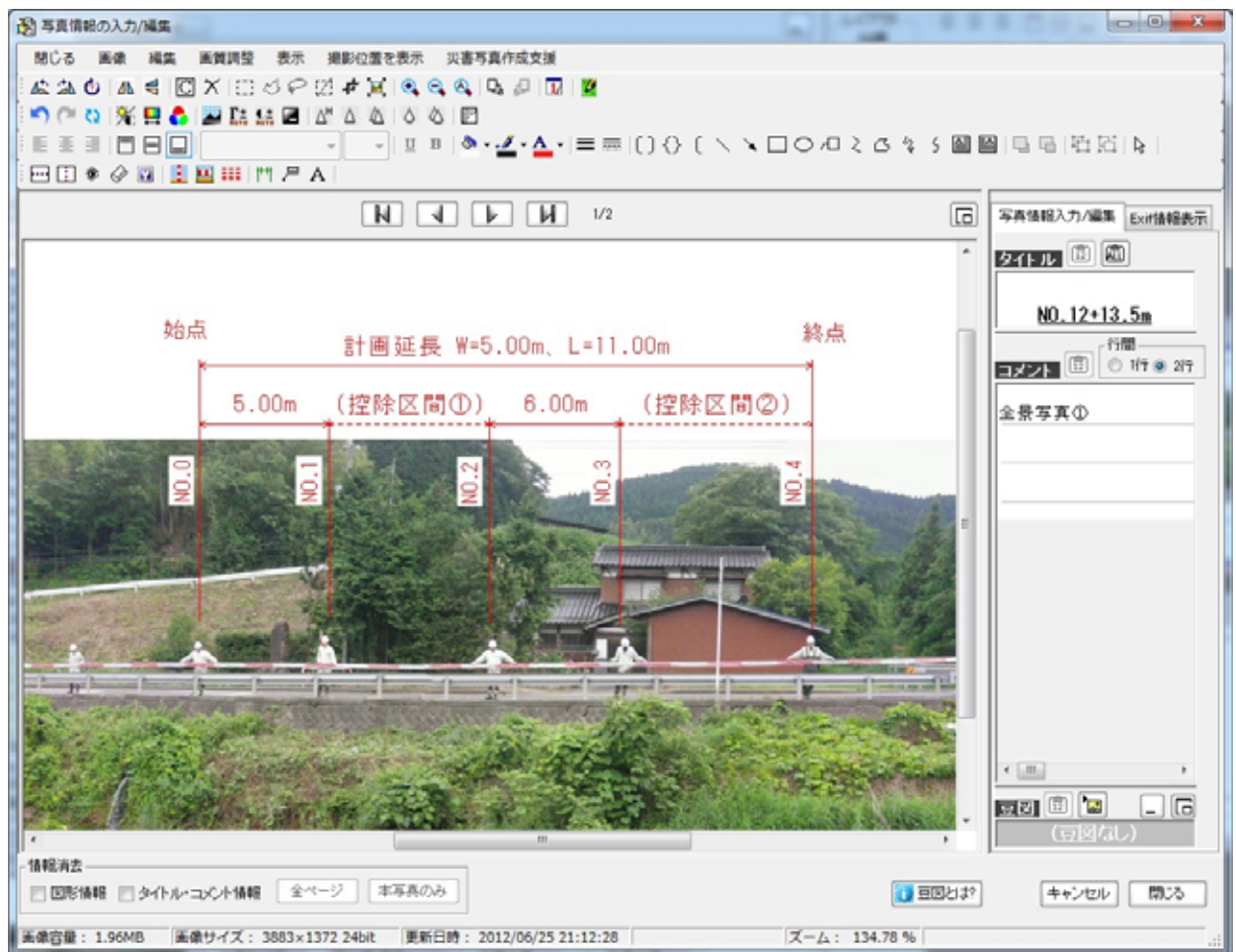
寸法作図例



## 寸法描画方法



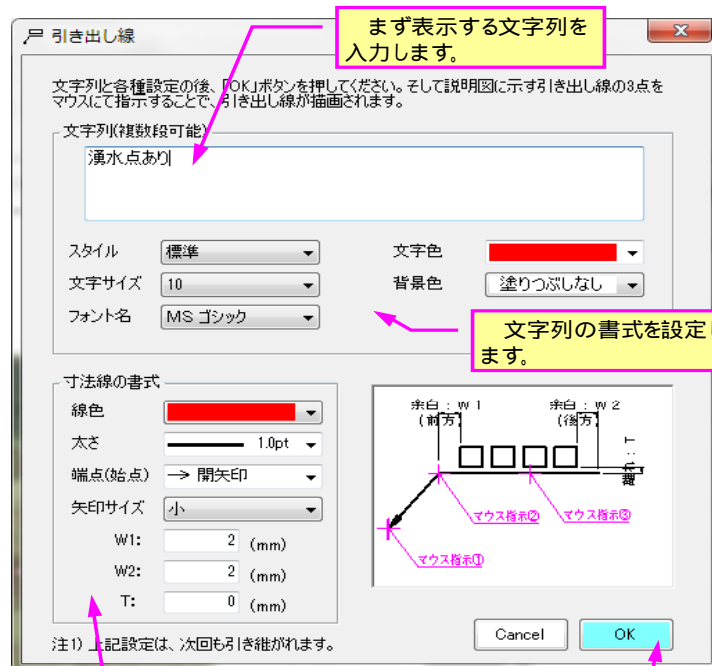




寸法作図例

### 10-3. 引き出し線描画機能について

引き出し線を CAD のように写真上に描画します。表示文字列を入力後、文字と引き出し線の書式を設定し、Ok ボタンを押します。続いて引き出し線の先端と途中位置の計 3 カ所をマウスで指示すると、その位置に引き出し線が描画されます。



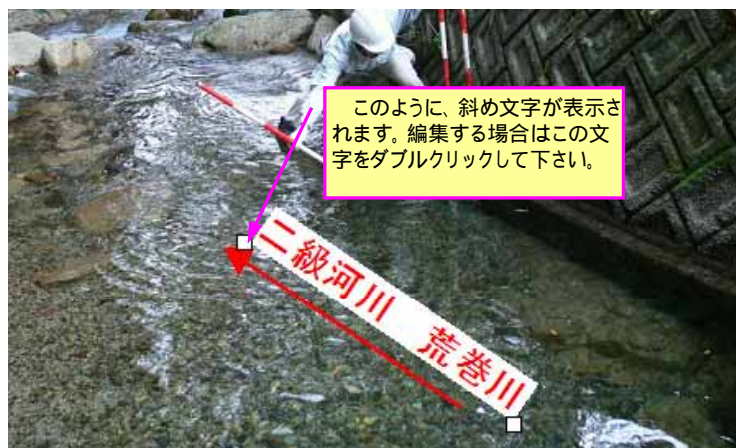
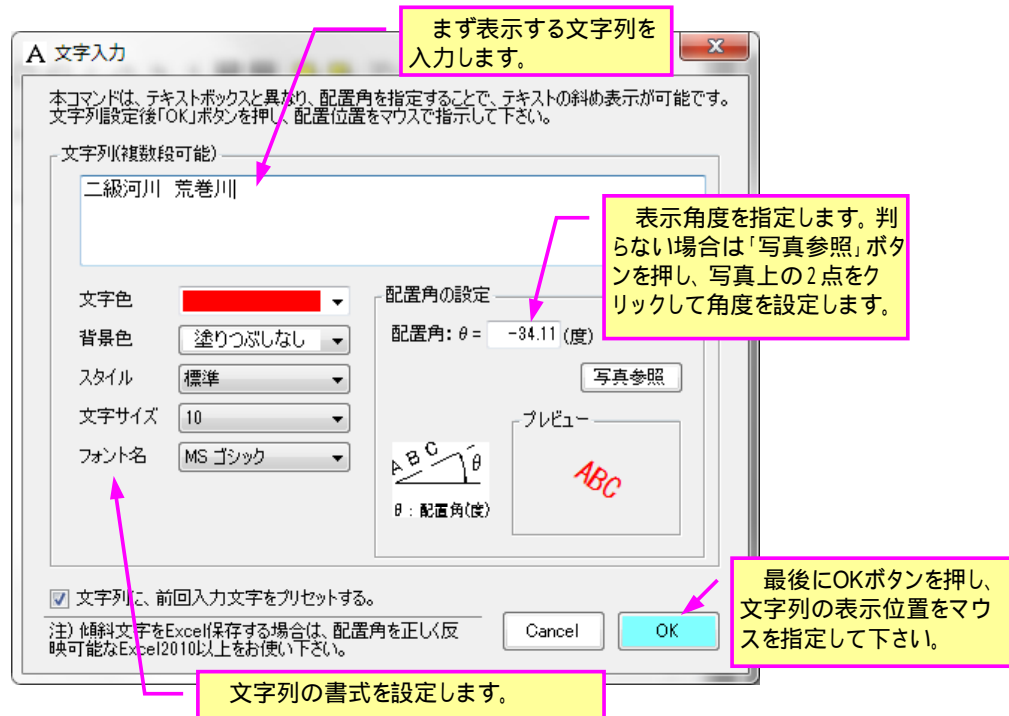
引き出し線の書式を設定します。

最後にOKボタンを押し、説明図に従って、引き出し線の描画ポイント3点をマウスで指示します。

## 10-4. 文字入力(傾斜文字対応)について

写真上に文字列を描画します。文字列表示はオートシェイプのテキストボックス等でも描画可能ですが、本コマンドは**傾斜文字に対応**している点が異なります。

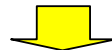
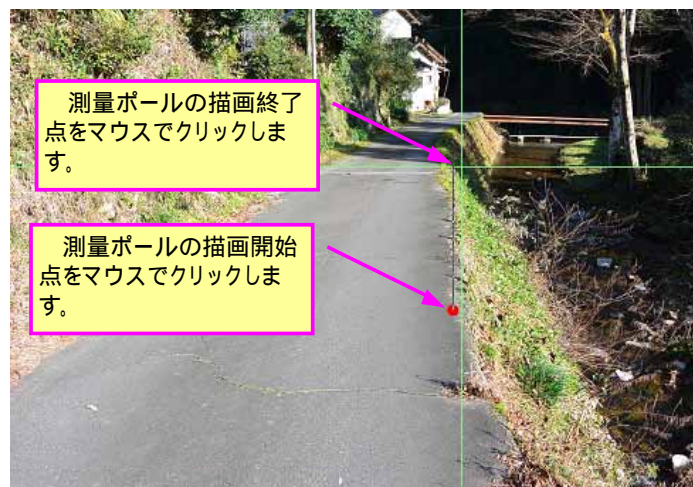
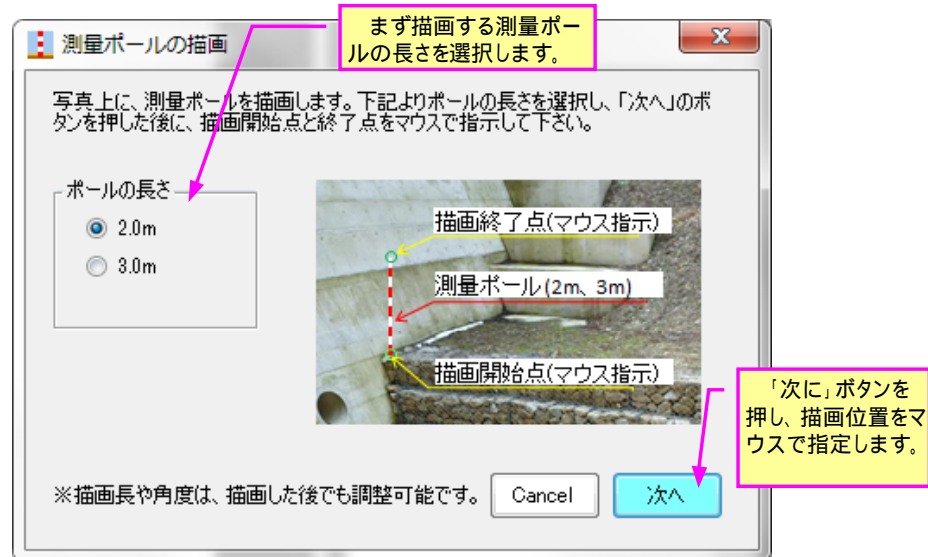
なおアルバムを Excel 保存する場合、**傾斜文字が正しく変換されるのは Excel2010 以降のバージョン**となります。古いバージョンでは文字の傾斜が正しく変換されませんのでご注意ください。





## 10-5. 測量ポール作図機能について

工事や測量に使用する赤白ポールを写真上に簡単に描画することが出来ます。長さは2m/3mのいずれかを選択します。



## 10-6. 赤白帯(距離スケール)の描画機能について

災害査定用写真の全景写真に赤白の距離スケールを描画することが出来ます。

災害写真の距離スケールは元々、災害現場で赤白の幅広巻尺を用いて距離を明示していました。しかし作業の簡素化と危険防止の観点から、今後は実測図が別途ある場合は、現地で赤白の幅広巻尺を用いなくても、撮影後に写真上に距離スケールを描画する方法で全景写真を作成することができます。

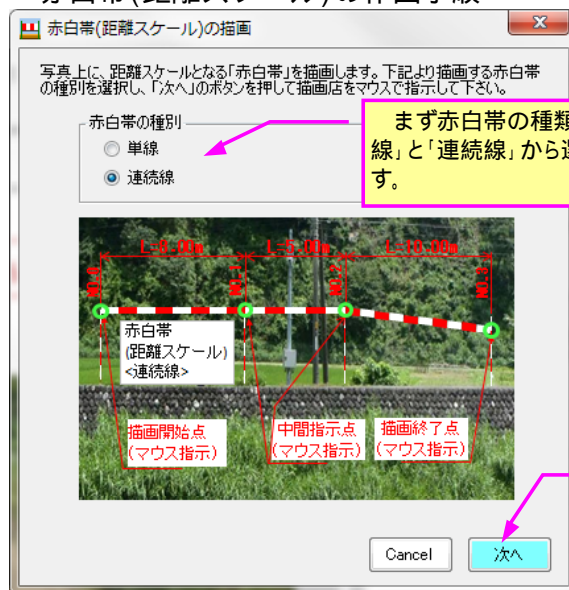
下図は「災害査定添付写真の撮り方(平成 26 年改訂版)」<(社)全日本建設技術協会発行>に掲載されている全景写真に描画されている赤白帯です。本ツールはこの距離スケールを簡単に描画する機能となります。



写真-29 河川災 全景写真(延長が大きく組写真とした事例)

①被災延長 L=175.0m (BP ~ +26.0 まで)

### 赤白帯(距離スケール)の作図手順



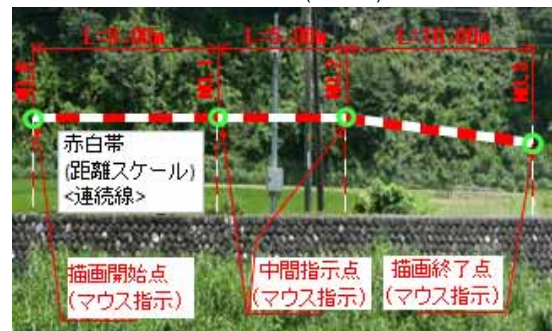
まず赤白帯の種類を、「単線」と「連続線」から選択します。

「次へ」ボタンを押した後、「単線」の場合は描画する始点と終点を、「連続線」の場合は描画の始点、中間点、終点をマウスで指示します。「右クリック」にて指示終了。

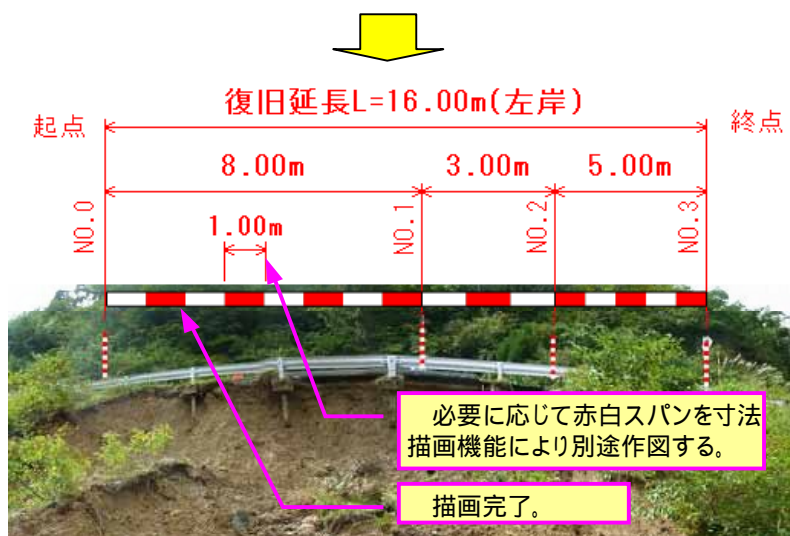
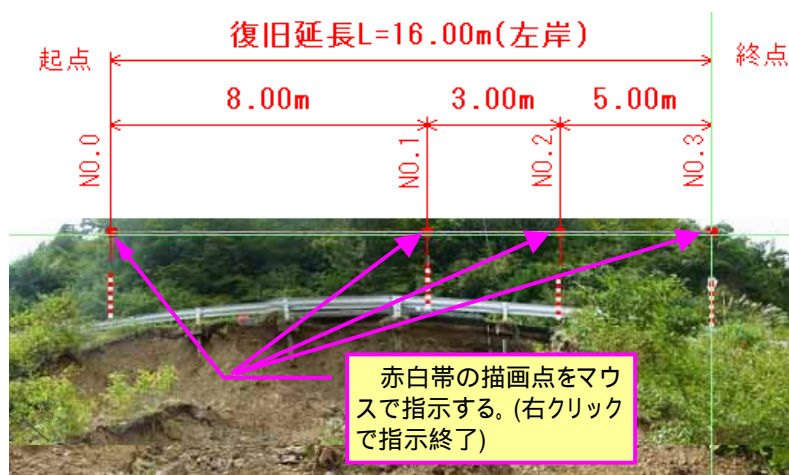
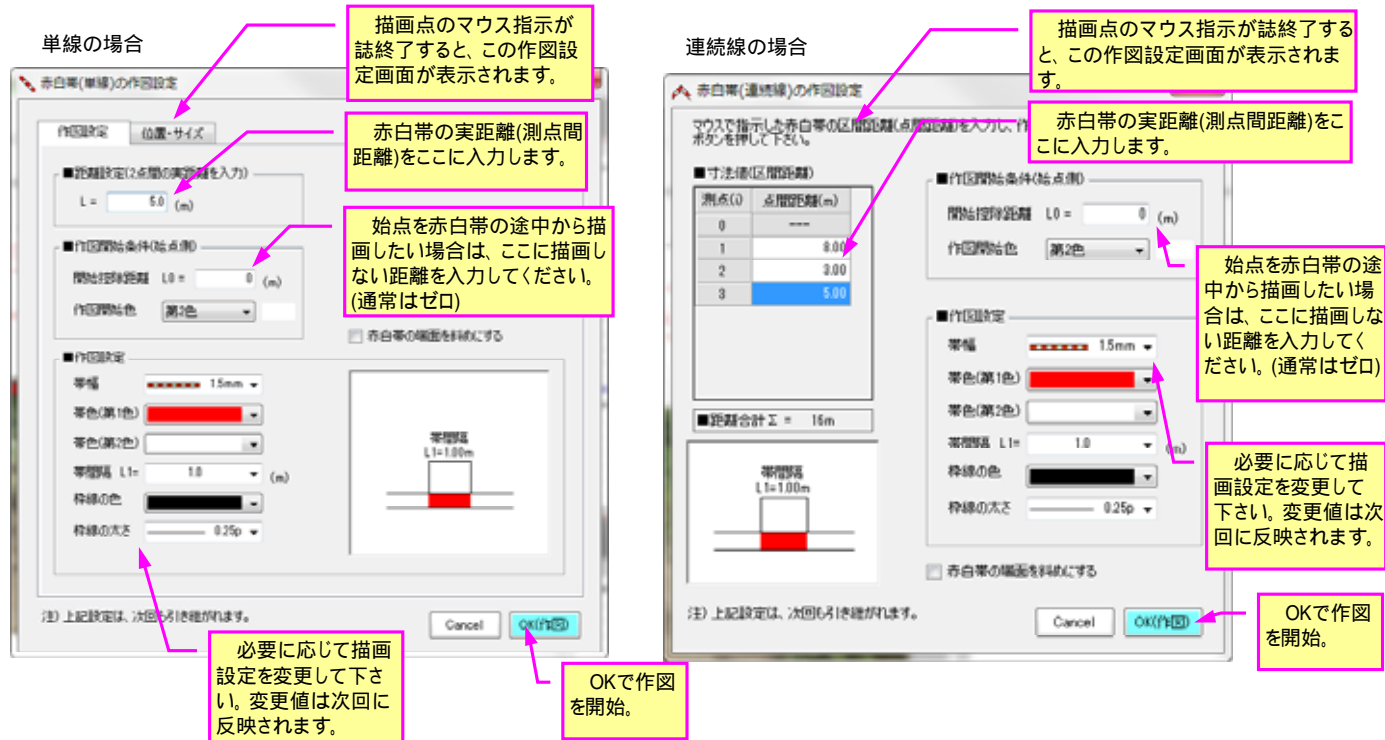
単線・・・下図のように、1測線のみ(単線)の距離スケールを描画する場合



連続線・・・下図のように、3つ以上の測点間に距離スケールを連続して描画する場合(連続線)

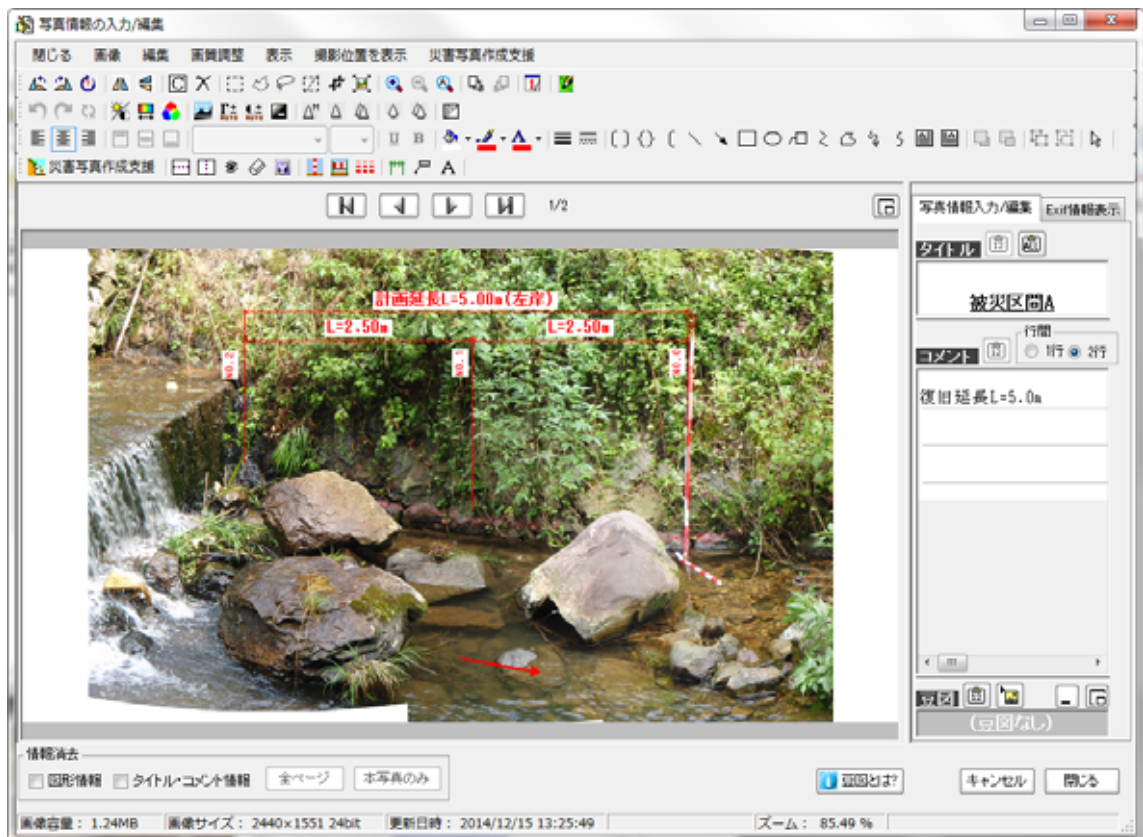




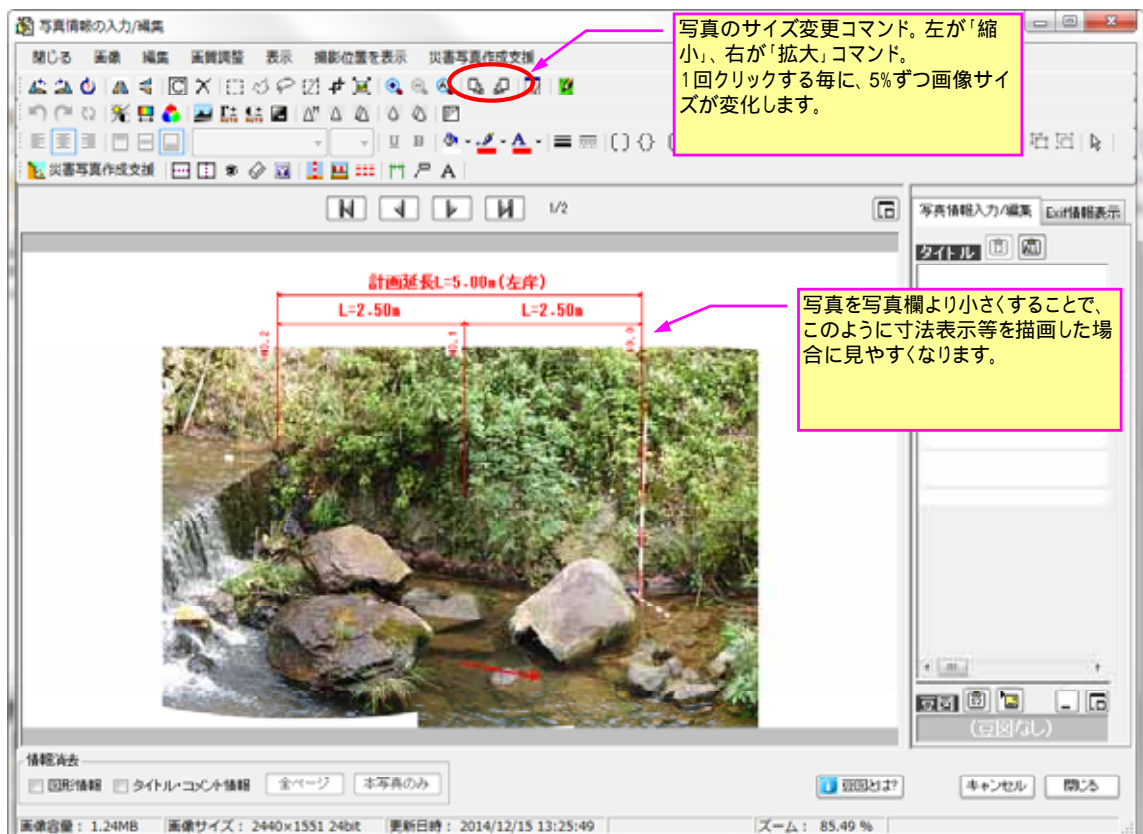


## 11. 「写真情報の入力/編集」画面でのアルバム写真のサイズ変更機能

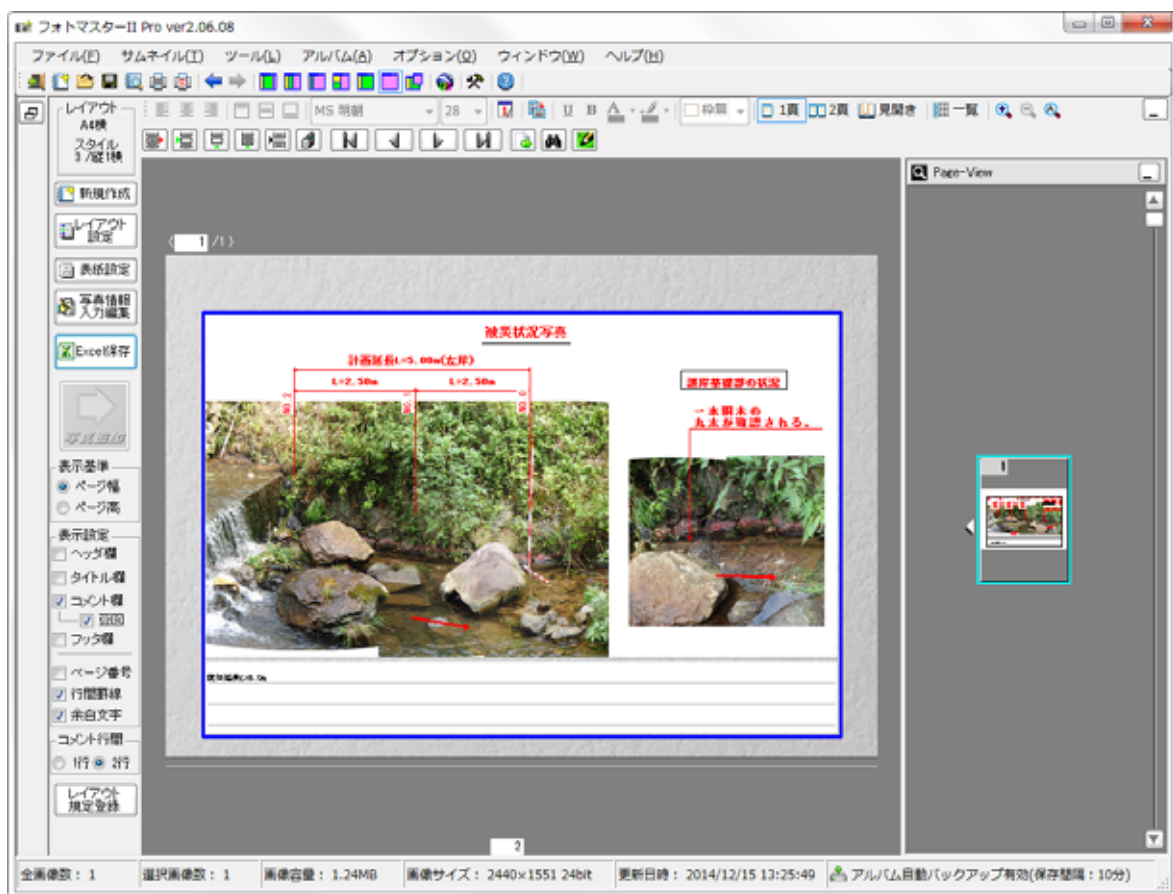
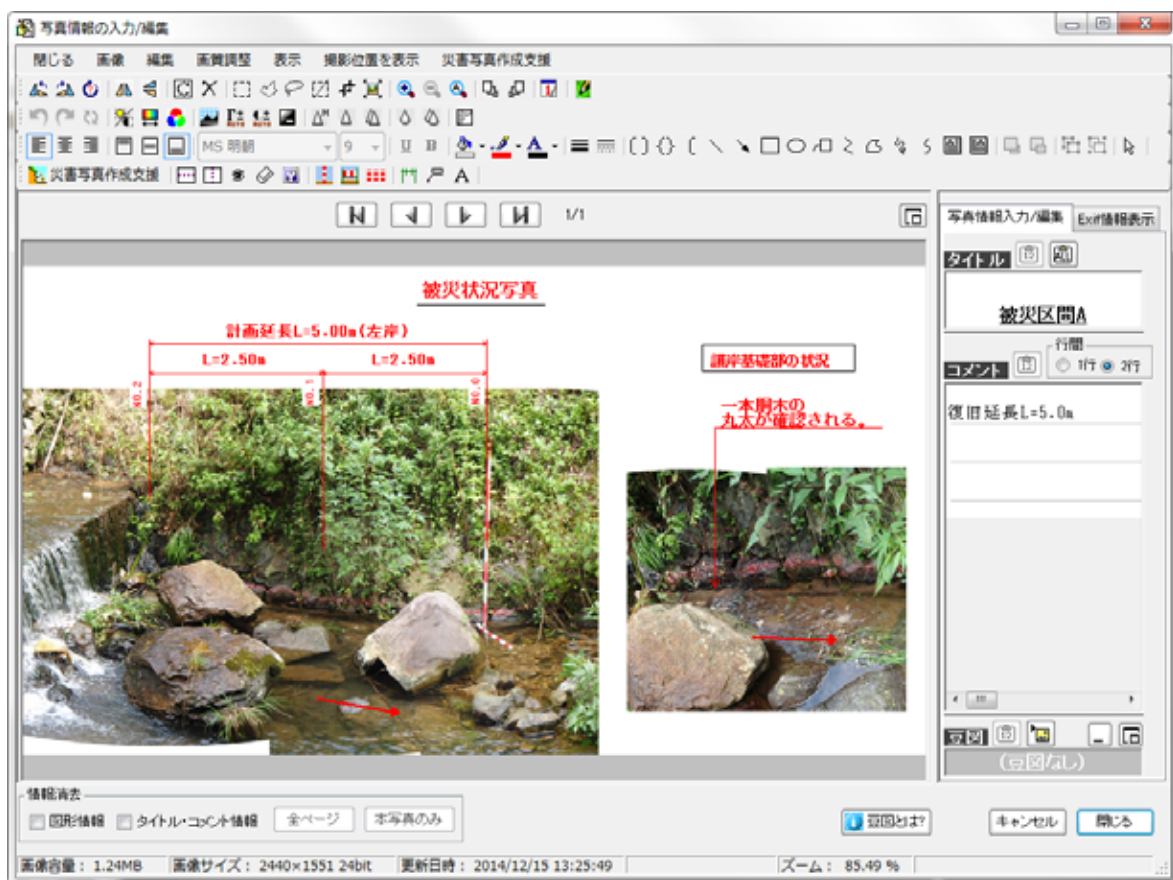
フォトマスターII Pro ver2.06 より、アルバム欄の写真サイズを変更できる機能を追加しました。この機能により、写真欄より写真サイズを小さくすることが可能になるため、写真欄の中に写真を複数配置したり、寸法を写真外に描画することなどが可能になります。



サイズ変更後



また、下図のように写真を縮小することで、空白部に別の画像を貼りつけることも可能となります。なお縮小した画像は、写真枠内での上下左右の表示位置を変更可能です。下図は画像を「左寄せ」かつ「下付き」表示しています。

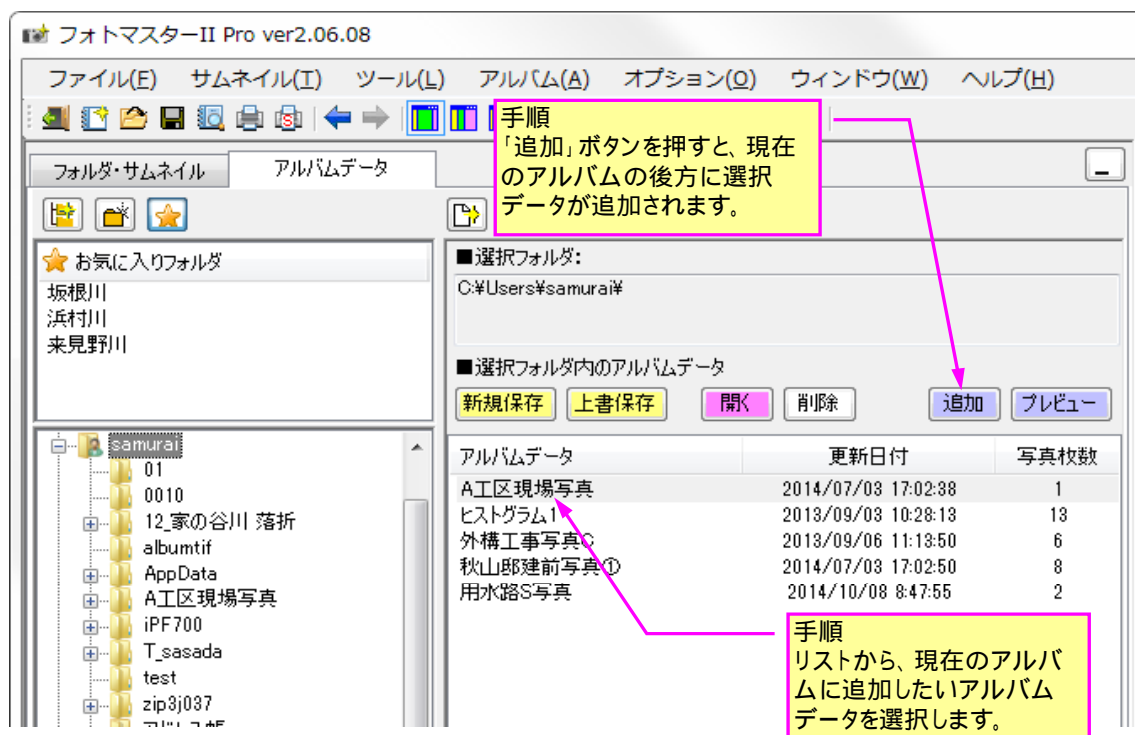




## 1 2 .アルバムデータの「追加」機能と「プレビュー」機能

### 1 2 - 1 .アルバムデータの「追加」機能

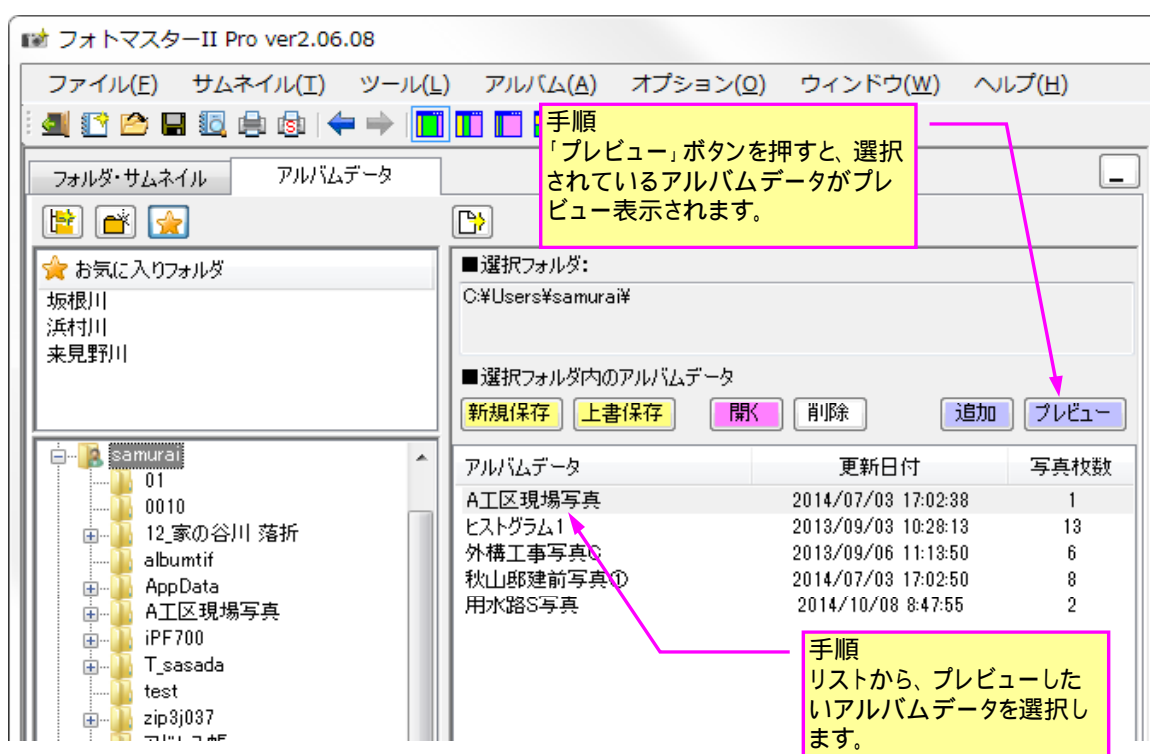
フォトマスターII pro では、下図の方法で、現在のアルバムに別のアルバムを追加することが出来ます。追加位置は、現在のアルバムデータの前方/後方の選択が可能です。



### 1 2 - 2 .アルバムデータの「プレビュー」機能

フォトマスターII pro では、下図の方法で、アルバムデータを開くことなく、別のアルバムデータをプレビュー確認することが出来ます。

開きたいアルバムデータを探したり、内容確認など場合に便利です。





### 1 3 .アルバム写真の抜き出し保存機能

メインメニューの「ファイル」-「アルバム写真の抜き出し保存」コマンドにより、アルバム内の写真画像のみを指定フォルダに保存することが出来ます。なお写真上にオートシェイプなどが描画されている場合は、写真とオートシェイプを合成して保存します。

保存時のファイル名は、「連番」&元ファイル名となります。

例えば、元ファイル名が P110251.jpg で連番が 1 番目の場合、「0001P110251.jpg」となります。

